

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-531480 (P2004-531480A)

【公表日】平成 16 年 10 月 14 日 (2004.10.14)

【年通号数】公開・登録公報 2004-040

【出願番号】特願 2002-563182 (P2002-563182)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 38/00

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 31/18

// C 0 7 K 5/08

C 0 7 K 5/083

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 31/18

C 0 7 K 5/08

C 0 7 K 5/083

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 7 日 (2005.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

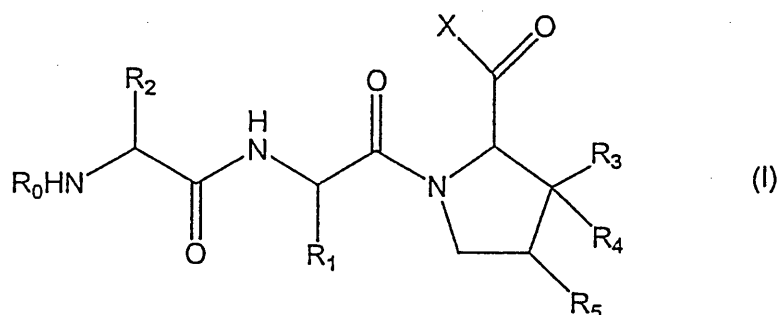
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

神経変性疾患の処置のための医薬であって、下記式 (I) :

【化 1】



[式中、X は、OH、(C₁₋₅) アルコキシ、NH₂、NH - C₁₋₅ - アルキル、N (C₁₋₅ - アルキル)₂ を表し ;

R₁ は、アミノ酸 : Phe、Tyr、Trp、Pro (それぞれ、場合により (C₁₋₅) アルコキシ基、(C₁₋₅) アルキル基又はハロゲン原子により置換されていてもよい)、及び Ala、Val、Leu、又は Ile のいずれかから誘導される残基であり ;

R₂ は、アミノ酸 : Gly、Ala、Ile、Val、Ser、Thr、His、Ar

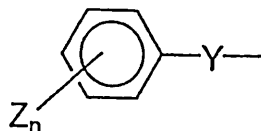
g、Lys、Pro、Glu、Gln、pGlu、Asp、Leu及びAsnのいずれかから誘導される残基であり；

R_3 及び R_4 は、独立にH、OH、 (C_{1-5}) アルキル、又は (C_{1-5}) アルコキシを表し（ただし、 R_3 及び R_4 は、両方ともOH又は (C_{1-5}) アルコキシであることはない）；

R_5 は、H、OH、 (C_{1-5}) アルキル又は (C_{1-5}) アルコキシを表し；そして

R_0 は、下記式：

【化2】



（式中、Yは、 $-CO-$ 、 $-CH_2CO-$ 、 $-CH_2CH_2CO-$ 、 $-CH_2CH_2CH_2CO-$ 、 $-CH=CH-CO-$ 又は $-OCH_2CO-$ を表し、そしてZは、ハロゲン原子、トリフルオロメチル基、 (C_{1-4}) アルコキシ基、 (C_{1-4}) アルキル基を表すか；あるいは2つの隣接する置換基は、 (C_{1-3}) アルキレンジオキシ基を形成してもよく；そしてnは、0又は1～5の整数である）で示される基を表す]で示される化合物、又は薬学的に許容しうるその塩を含む医薬。

【請求項2】

R_1 が、アミノ酸：Phe、Tyr、Trp（それぞれ、場合により (C_{1-5}) アルコキシ基、 (C_{1-5}) アルキル基又はハロゲン原子により置換されていてもよい）のいずれかから誘導される残基、又はアミノ酸：Ileから誘導される残基である、請求項1記載の医薬。

【請求項3】

R_1 が、場合により (C_{1-5}) アルコキシ基、 (C_{1-5}) アルキル基又はハロゲン原子により置換されていてもよい、アミノ酸：Pheから誘導される残基である、請求項2記載の医薬。

【請求項4】

Xが、 (C_{1-5}) アルコキシ、 NH_2 、 $NH-C_{1-5}$ -アルキル、又は $N(C_{1-5}-アルキル)_2$ である、請求項1～3のいずれか1項記載の医薬。

【請求項5】

R_2 が、アミノ酸：Gly又はIleから誘導される残基である、請求項1～4のいずれか1項記載の医薬。

【請求項6】

R_0 が、シンナモイル残基である、請求項1～5のいずれか1項記載の医薬。

【請求項7】

式(I)の化合物が、シンナモイル-グリシル-L-フェニルアラニル-L-プロリンアミド、シンナモイル-イソロイシル-フェニルアラニル-L-プロリンエチルアミド、シンナモイル-イソロイシル-イソロイシル-プロリンアミド、又は薬学的に許容しうるこれらの塩である、請求項1～6のいずれか1項記載の医薬。